

2017 年 5 月 31 日

通算出席率と単位取得数の関係（概要）

大阪経済法科大学  
大学教育開発支援センター

（調査目的）

本調査の目的は、確かな根拠に基づいた学生への出席奨励を可能とすることにある。国内では、日本の大学の現状について、「授業に出席しなくても単位が取れる」と言った声<sup>1</sup>があるようだ。一方で、大阪経済法科大学（以下、本学）においては、通算出席率と単位取得数の間には相関があると思われる。今回の調査では、通算出席率と 4 年生開始時点の単位取得状況との相関の程度を示す。

（調査結果概要）

調査対象：本学 経済・経営・法律学科 2017 年度 4 年生（2014 年度入学生）

調査結果：通算出席率と通算単位取得率には強い相関（相関係数は 0.8655）がある。

本報告結果と、本学においても初年次 GPA と通算 GPA に関しては強い相関があるという調査結果を合わせ、学生に対し、「初年次からの学びが大変重要であること」、「授業にはしっかりと出席すること」、「それに関する確かなデータエビデンスが存在すること」を周知することで、全体的な将来の出席・単位取得状況を改善させることが可能となると考えられる。

---

<sup>1</sup> 例えば、文部科学省の「大学における教育内容・方法の改善等について」の「Q3 日本の大学の現状について、「授業に出席しなくても単位が取れる」「勉強しなくても簡単に卒業できる」などの声を耳にしますが、これについて大学はどのような対策を講じているのでしょうか。」等。 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigaku/04052801/003.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/003.htm)